

令和5年4月28日

(宛先) 京都市教育長

京都市立 花山中 学校

校 長 増田隆生

令和5年度 教育指導計画書について

京都市立小学校、中学校、小中学校及び幼稚園の管理運営に関する規則第7条の規定に基づき、令和5年度教育指導計画書を別紙のとおり提出いたします。

## 1 教育目標及び子ども像、育成を目指す資質・能力

<p><b>教育目標</b></p> <p>&lt;最高経営理念&gt; 校是 一志 かがやくー 唯一無二 心を一つに 未来を創る</p> <p><b>教育目標</b></p> <p>志を高く、多様な学びを通して、持続可能な社会の担い手を育成する。</p>	<p>令和4年度からの変更</p> <p>あり・<input type="checkbox"/>なし</p>
<p><b>目指す子ども像</b></p> <p>◆常にTPO「Time（時間）・Place（場所）・Occasion（場面）」を意識し、その時、その場でどのような行動が適切であるか自分で考え、決め、実行できる生徒</p> <p>◆主体的に粘り強く学びに向かう力ある生徒</p> <p>◆多様な考えや立場を理解し、認め合い自他ともに存在感を感受できる生徒</p> <p>◆豊かな感性、創造力を活かし考えや思いを伝えることができる生徒</p> <p>◆考えや情報を順序立て、その先にある課題を見つけ解決できる生徒</p>	<p><input type="checkbox"/>あり・なし</p>
<p><b>育成を目指す資質・能力</b></p> <p>◆主体性・協働力・忍耐力 ⇐ 全ての教育活動において育成を目指す力</p> <p>◆自己表現力・問題解決力・創造力・思考力 ⇐ 日々の授業において育成を目指す力</p>	<p>あり・<input type="checkbox"/>なし</p>

## 2 「小中一貫教育」における9年間の教育目標と目指す子ども像

<p><b>9年間の教育目標</b>（中学校ブロックの小・中学校で共有すること）</p> <p>「自ら未来を切り拓き 地域・社会と共に歩む子どもの育成」</p> <p>ー 未来 きらめく ー</p> <p>出会いは広く 学びは深く 志は高く</p>	<p>令和4年度からの変更</p> <p>あり・<input type="checkbox"/>なし</p>
<p><b>9年間の目指す子ども像</b>（中学校ブロックの小・中学校で共有すること）</p> <p>「確かな学力」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に自ら課題を見だし、生涯にわたって探究し続ける人間の育成</li> </ul> <p>「豊かな心」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な教科、道徳、各分掌、行事を通して、規範意識の向上を図る</li> </ul> <p>「健やかな体」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育推進を図、基本的な生活習慣の定着、健全な心身の育成を目指す</li> </ul>	<p>あり・<input type="checkbox"/>なし</p>
<p><b>具体的な取組</b>（小一小、小一中での取組など）</p> <p>◆「<b>組織の再考と組織力の強化</b>」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小中合同学校運営協議会（コネクト・プロジェクト協議会 Connect(繋げる)+ Project(計画)) <ul style="list-style-type: none"> <li>・花山中ブロックの教育等に関する課題の共有と取組の推進</li> </ul> </li> <li>2. 花山中ブロック教職員が、「9年間の成長を見通した教育目標や目指す子ども像」の共有と実現化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒・家庭環境の現状把握と課題の明確化</li> </ul> </li> </ol>	

- 3・小中学校の教職員間の「連携」「協働」を深める取組（小小連携を含む）の推進
- ・連絡体制の充実
  - ・合同研修会、学習会の実施
  - ・授業参観や各行事への参加
  - ・校長会、教頭会、教務主任会、研究主任会、生徒指導主任会、児童生徒会担当者会等の定期的開催と充実

◆「確かな学力」（授業改善・研究→「愛郷心」「自己管理・自己理解」「計画力・行動力」）

1. 小中教科連携 ・英語（外国語）を中心に ・合同道徳 ・出前授業 ・オープンキャンパス
2. 教育課程の編成や授業・指導形態等の工夫・改善により、子ども達の生きる力の育成を図る。
  - ・めあての提示、まとめ又は振り返りの徹底
  - ・ノートの書き方指導の徹底
  - ・思考ツールやタブレット、ICT機器等を活用し主体的、対話的な授業を目指した授業改善
  - ・探究型学習・ポスター発表・調べ学習を通じた言語活動の充実
3. 発達に応じた読書の指導
4. 学力状況の交流と対策
  - ・各学力テスト等におけるデータ分析と結果の共有
  - ・小中一貫教育主任および各校教務主任、研究主任による児童・生徒のつまずきの分析

◆「豊かな心」（人権・道徳・伝統文化教育の充実→「他を思いやる心」「自尊感情」「規範意識」）

1. （小中読み聞かせ活動）
2. 道徳教育での連携（共通課題の設定・小中で連携した評価・ブロック合同道徳）
3. 人権教育での連携（共通課題の設定）
4. （生徒会・児童会交流会）

◆「健やかな体」（健康教育・食育→「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学ぶ意欲」）

1. 生活ルールの徹底（衣食住に関する共通ルール）
2. 小中合同の規範設定
3. 部活動交流（吹奏楽部・金管バンド部を中心に）
4. 飲酒・喫煙・薬物に関する指導の整理と情報交換

◆「未来 かがやく」ハンドブック作成 学習基盤「学びのススメ」・生活基盤「こころのススメ」

### 3 学校経営方針

#### 目指す学校像

- ◆規範意識の醸成、自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供ができる学校。
- ◆授業や体験活動等の教育活動を通して、主体的に挑戦してみることや多様な他者と協働して創意工夫することの重要性を実感させることができる学校。
- ◆保護者、地域から「信用され、誇れる花山中学校」

#### 目指す教職員像

- ◆常に世界や社会の情勢を意識し、社会の変化に対応でき質の高い教育・授業を目指す教職員
- ◆常に笑顔があふれ、共汗・共感し学び続け成長しようとする教職員

- ◆常に組織として学校、地域等、全体を考え行動する教職員集団

#### 具体的な取組

- ◆これまでの教育実践と ICT 活用を適切に組合、個別最適な学びと協働的な学びから質の高い教育と授業展開を目指す。(GIGA スクール充実期)
- ◆新聞活用から世界や社会の情勢や変化を意識させる。
- ◆行事や部活動等、様々な学校教育活動を通して自己有用感や達成感、責任感等を身につかせる。
- ◆コネクト・プロジェクト協議会（学校運営協議会）や地域諸団体と連携し開かれた学校教育の実践
- ◆保護者、生徒、地域からの学校評価をもとに現状分析をする。

※「学校の教育方針」や学校の経営構想を図式化したもの（「学校経営戦略マップ」等）を作成している場合は、教育指導計画書の内容を補足する資料として添付してください。

( 花山中 ) 学校—1

#### 4 学校教育の計画

※様式4『学校評価実施報告書』：(1)～(3)と一致するように、記載をお願い致します。

##### (1)「確かな学力」の育成に向けて『学力向上プラン』

#### 重点目標

“自ら学ぶ力”を養う授業展開と生徒を見つめる学習評価の実践

#### 具体的な取組

- ①基礎的な知識の習得、基礎学力向上のための教科会充実（ミライシード、各種テストの分析と指導改善など）
- ②授業設計の工夫をテーマとした公開授業週間や授業研究の実施（知識・技能の結びつきの強化、パフォーマンス課題の設定）
- ③総合的な学習の時間の充実（人権・キャリア・進路・伝統行事）
- ④アンケート結果を活用した、生徒の自己指導能力の育成を促す学習の展開(30 パターンの手立ての活用)
- ⑤主体的に学習に取り組む態度の見とり方（効果的な発問、課題設定、説得力があり次につながる評価）

##### (2)「豊かな心」の育成に向けて

#### 重点目標

- ・規範意識の向上を目指し、生徒の現状に即した道徳教育を推進する。
- ・人間としての生き方についての自覚を深め、自ら律し、自らの人生をたくましく切り拓いていく生徒を育成する。[自主、自立、自由と責任]

#### 具体的な取組

- ・ 道徳教科書を主軸に置きながらも、生徒の想像力のサポートとなるよう具体的例示を年間行事や学年取組の流れに合わせ提示していく。
- ・ 生徒指導実践上の四視点到った授業を行う。
  - ・ 生徒が自己存在感を実感できるよう、一人一人の考えや判断を大事にする授業。
  - ・ 共感的な人間関係の育成に寄与すべく、相互の違いを認め尊重してける授業。
  - ・ 自己決定の場としての、生徒が自分自身の意見や考えを自由に発表できる授業。
  - ・ 生徒が安全かつ安心して学校生活を送っていけるよう価値観の合意形成が図れる授業。

( 花山中 ) 学校—2

### (3) 「健やかな体」の育成に向けて

#### 重点目標

基本的な生活習慣の確立に向けての意識を高め、自ら健康管理に努めるとともに、生涯を通じて心身ともに健康な生活を営むための基礎を培う。

#### 具体的な取組

##### 1、生徒会生活保健委員会活動の活発化

長期休業後に年に2回の生活習慣点検を実施し、自分の生活を振り返る機会を作る。またその結果を委員会の生徒がまとめ、規則正しい生活の大切についての意識を高める。また、花山中学校下の小学校と連携する。

文化祭において、薬物乱用防止や感染症予防についてのCM作りを作成し、保健指導に努める。

##### 2、薬物乱用防止教室、体験型防煙教室の実施

税関支署の方と麻薬探知犬を講師に招き、薬物の危険性や誘われた時の断り方をロールプレイを通して学ぶ。また、防煙教室では、たばこの害について、見たり触ったりする中で興味をもって学ぶ機会になっている。

##### 3、性に関する学習（全学年）の実施

各学年、生徒の実態に合わせて年間2時間ずつの性に関する学習の時間をとっている。3年生では、助産師の方を講師に招いて、命を大切にすることや自己決定能力を高めるための学習を行う。

##### 4、部活動の活発の実施

仲間と協力し合いながら活発な部活動を実施し、体力を向上し、健やかな体づくりに努めている。

( 花山中 ) 学校—3